

南校通信

愛媛県立宇和島南中等教育学校
R8.2.26発行

日	曜日	3月の行事予定	給食
1	㊤	卒業証書授与式(10:00)	×
2	月	振替休日(3/1)	×
3	火	答案返却特別時間割① 文化祭準備40分授業	○
4	水	答案返却特別時間割②	○
5	木		○
6	金	人権を確かめあう日	○
7	㊦		
8	㊤	第3回実用英語検定2次B日程	
9	月	校納金引落日	○
10	火		○
11	水	文化祭準備(午後)	×要弁当
12	木	文化祭	×
13	金	午前中50分授業	○
14	㊦		
15	㊤		
16	月	自転車に対する交通反則通告制度(青切符)の導入に向けた交通安全教育講習会4限(3~5年体育館)	○
17	火	第5回PTA役員会(17:30会議室)	○
18	水	修了式	×
19	木	3学期終業式 編入学者登校日	×
20	金	春分の日	
21	㊦		
22	㊤		
23	月	編入学者補習	
24	火	編入学者補習	
25	水		
26	木	編入学者補習	
27	金	離任式(10:00体育館)	
28	㊦		
29	㊤		
30	月		
31	火		
備考			

※ ○は給食あり ×は給食なし

教頭先生より

教頭 水谷 一郎

平成元年、県立学校の教諭として採用されました。当時は、栄養ドリンク「リゲイン」の「24時間戦えますか？」というコマーシャルに象徴されるように、社会全体が働き詰めの空気に包まれていました。生徒数も多く、1クラス45人学級が当たり前。教室は机と椅子でぎっしりと埋まり、机間指導をする余裕もありませんでした。昭和63年には宇和島東高校野球部が春の選抜で優勝し、翌年には南宇和高校サッカー部も冬の選手権で優勝するなど、南予地域全体が活気に満ちていました。

生徒たちは元気いっぱい自由奔放。喫煙や暴力といった問題も珍しくなく、教師としては常に気を張っていたように思います。今のようにスマートフォンも一人一台端末もありませんでした。不便を感じることはなく、学習指導要領の改訂を四度経験しながら、教育の在り方が大きく変わっていく時代を歩んできました。

あれから38年。授業に向かえば、今は20人足らずの落ち着いた素直な生徒たちが座っており、教室に入るだけで気持ちが明るくなります。また、世の中では「働き方改革」という言葉が当たり前になり、教員の働き方も大きく見直されました。

このように、社会も教育現場も大きく変化しましたが、昔も今も変わらないのは、人と人との心のつながりだと感じています。生徒の皆さんや先生方と話をする、今でもホッとします。この学校で還暦を迎え、気持ちの良い生徒にめぐり合えたこと、優秀な先生方と共に仕事できたこと、多くのことを学ばせていただいたことに、心から感謝しています。

教頭 菅野 圭作

生徒の皆さん、この一年間、本当にお疲れ様でした。授業や部活動、学校行事、そして日々の努力の積み重ねに、心から拍手を送ります。思うようにいかない日もあったはずですが、それでも歩みを止めず、自分なりの最善を尽くしてきた皆さんの姿は、確かな成長の証です。皆さんと一緒に過ごしたこの一年は、私にとっても楽しく、そして充実した一年となりました。ありがとうございます。

皆さんの歩みを振り返ると、一つひとつの出来事は決して派手ではなくても、確かな「点」として皆さんの心に刻まれてきました。うまくいった経験も、思うように結果が出ずに悩んだことも、すべてが皆さんの内面を鍛え、次の挑戦へと向かう力を育てています。その積み重ねこそが、未来を支える土台となります。

アップル社の創業者スティーブジョブズは、過去の経験はその瞬間には意味が分からなくても、後になって必ずつながると語りました。未来を正確に見通して点と点を結びつけることはできません。しかし、今を真剣に生きることで、振り返ったときにそれらは一本の線となり、自分だけの物語を形作ります。この一年、皆さんが挑戦したこと、乗り越えたこと、誰かと交わした言葉や出会いは、すべてが大切な点です。友人との語らい、先生方からの教え、地域での学び、それらの積み重ねが、やがて結ばれ、皆さんの夢や目標を支える礎となるでしょう。

来年度は、さらに大きな目標に向かって歩み出す一年です。自ら問いを立て、課題に向き合い、失敗を恐れず挑戦してください。今日の努力は、必ず未来へとつながります。皆さんの可能性は無限です。新しい一年が、希望と成長に満ちた時間となることを心から願っています。

本年度も残りわずかとなりました。本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。

